

ワンポイントアドバイス ～テストモードを使った補聴器の特性測定 クリアシリーズ～

クリアシリーズの場合はどうやって特性を取るのですか？


Compass に接続し、テストモードを使用します。
テストモード中は、USB Link から補聴器を離して
特性測定を行うことが可能です。

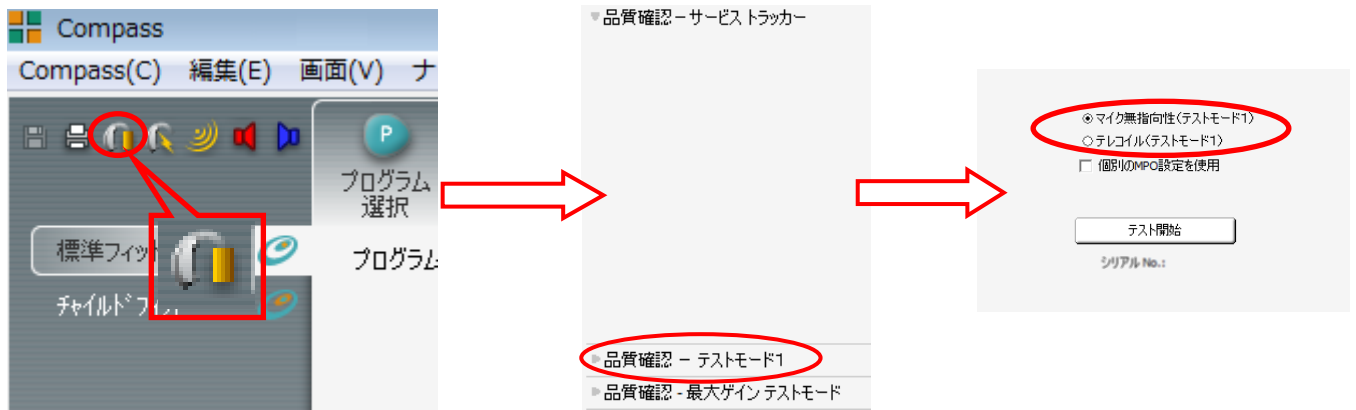
テストモードに切り替えずに、USB Link から補聴器を
離すと右のような未接続のエラーメッセージが表示され
ます。

そのため、下記の手順でテストモードに切り替えてから、
補聴器を USB link から離して下さい。



～テストモード1～

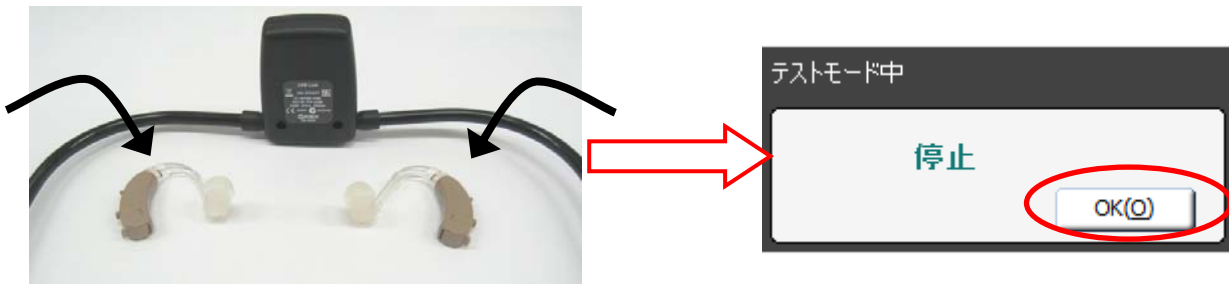
- ① Compass の「ファインチューニング」画面左上にある品質確認のアイコン  をクリックし、品質確認の画面へ進みます。「テストモード1」のパネルを開き、「マイク(無指向性)」か「テレコイル」を選択します。
(テストモード中には、補聴器から大きな音が出る可能性がありますので、必ず耳から外して下さい。)



- ② Compass 画面の「テスト開始」をクリックし、左下の「テストモード中」の画面が表示されてから補聴器を特性器に入れて測定を開始します。

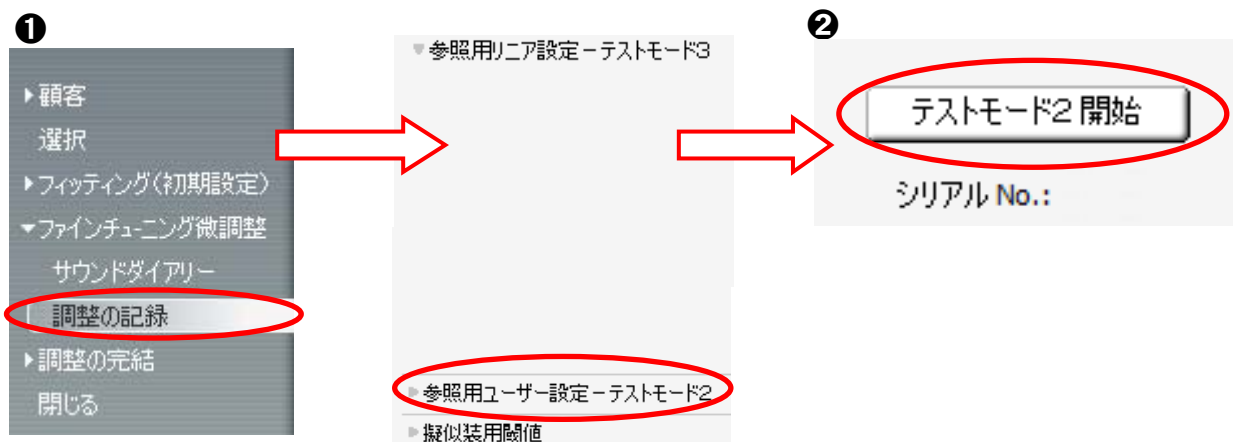


- ③ 測定し終わったら、補聴器を USB Link の検出範囲に戻し、「テストモード中」画面の「OK」でテストモードを解除します。

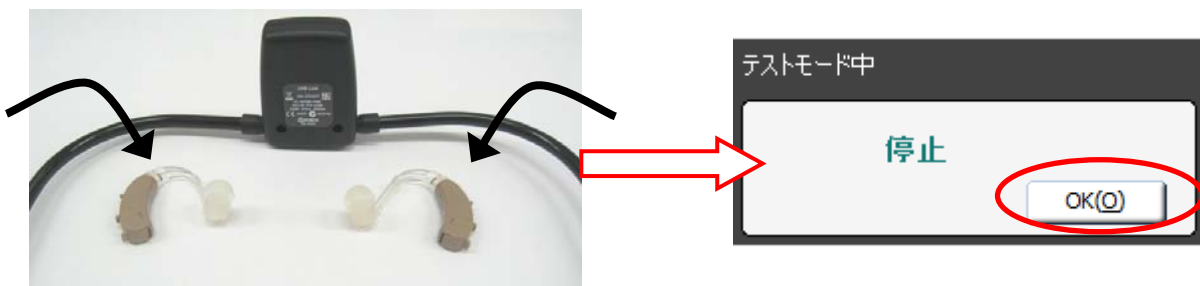


～テストモード 2～

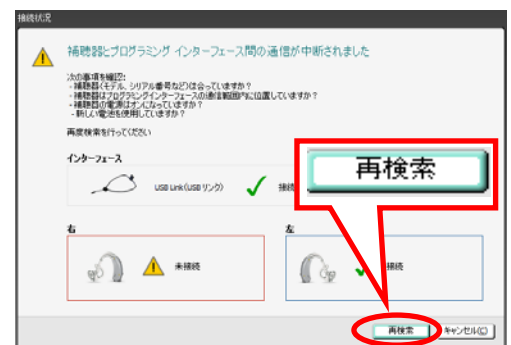
- ① 「ファインチューニング微調整」→「調整の記録」をクリックします。
 ② 「テストモード 2 開始」をクリックし、「テストモード中」の画面が表示されてから補聴器を特性器に入れ、測定します。



- ③ 測定し終わったら、補聴器を USB Link の検出範囲に戻し、テストモード中画面の「OK」でテストモードを解除します。



※補聴器が USB Link の検出範囲外に置かれた場合には、右画面の様なエラーメッセージが表示されます。
 再度補聴器を USB Link の検出範囲に置き、「再検索」を選択し、接続します。



その他の有線接続の補聴器については『ワンポイントアドバイス 補聴器の特性測定(テストモードの使い方)』をご参照下さい。